

再生利用に関する計画書集計結果

1. 調査概要

1.1 調査の目的、調査対象

本調査は、本市の事業系ごみのうち排出割合が大きいと推測される大規模建築物におけるごみの量・質等の実態を把握することを目的として、事業用延べ床面積 1,000 m²以上の建築物に入っている事業所について、本市が保有する「再生利用に関する計画書」を元に事業所における事業系ごみの発生・再利用・処分の量を整理し、傾向を分析しました。

調査結果は、本市の一般廃棄物処理基本計画を策定するための基礎資料とします。

1.2 調査方法

本市に提出された再生利用に関する計画書(平成 28 年度～令和 2 年度実績値)に基づき、大規模建築物における事業系ごみの各品目の発生量・処分量・再利用率・再利用率の実績を集計、分析しました。

※各年 4 月 1 日時点で作成されているデータを基に集計・分析。

※ここでの事業系ごみには産業廃棄物も一部含まれる。

2. 調査結果

2.1 回答数

再生利用に関する計画書の実績値年度別の回答数は、以下の通りです。

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
一般事業所	123	128	130	127	147
市施設	53	42	30	31	62
【合計】	176	170	160	158	209

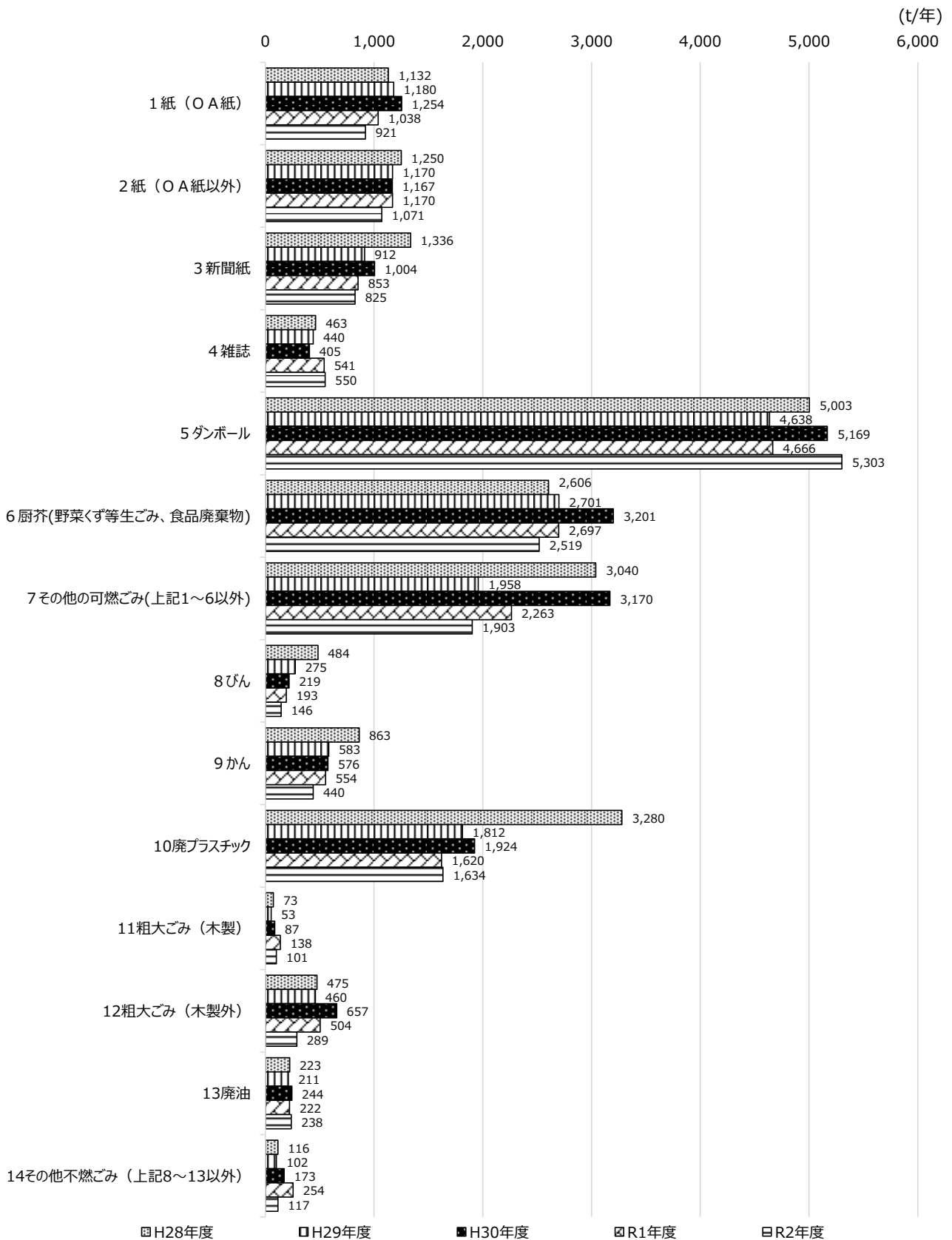
(件)

2.2 発生量

発生量合計は減少傾向にあり、特に「紙(OA紙)」、「新聞紙」、「びん」、「かん」が減少傾向にあります。また、「廃プラスチック」は、平成28年度から平成29年度にかけて大幅に減少しています。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い在宅勤務や外出自粛が進み、生活様式の変化、あるいは結果として一部事業所における活動規模の縮小等の影響が出たと推測される令和2年度においては、「雑誌」「ダンボール」「粗大ごみ(木製)」「廃油」「その他不燃ごみ」以外は比較的少ない発生量となっています。

	(t/年)				
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
1 紙 (OA紙)	1,132	1,180	1,254	1,038	921
2 紙 (OA紙以外)	1,250	1,170	1,167	1,170	1,071
3 新聞紙	1,336	912	1,004	853	825
4 雑誌	463	440	405	541	550
5 ダンボール	5,003	4,638	5,169	4,666	5,303
6 厨芥(野菜くず等生ごみ、食品廃棄物)	2,606	2,701	3,201	2,697	2,519
7 その他の可燃ごみ(上記1～6以外)	3,040	1,958	3,170	2,263	1,903
8 びん	484	275	219	193	146
9 かん	863	583	576	554	440
10 廃プラスチック	3,280	1,812	1,924	1,620	1,634
11 粗大ごみ(木製)	73	53	87	138	101
12 粗大ごみ(木製外)	475	460	657	504	289
13 廃油	223	211	244	222	238
14 その他の不燃ごみ(上記8～13以外)	116	102	173	254	117
15～17 その他(A社ビール粕)	26,338	28,979	25,190	27,102	22,254
15～17 その他(B社紙オムツ)	7,200	7,200	7,200	7,400	7,300
15～17 その他(A社・B社以外)	2,907	3,053	2,611	2,543	2,512
【合計】	56,788	55,727	54,250	53,759	48,123



注) A社とB社の「その他」の回答は数値が突出しており、それ以外の事業者の「その他」とともにグラフからは除外している。

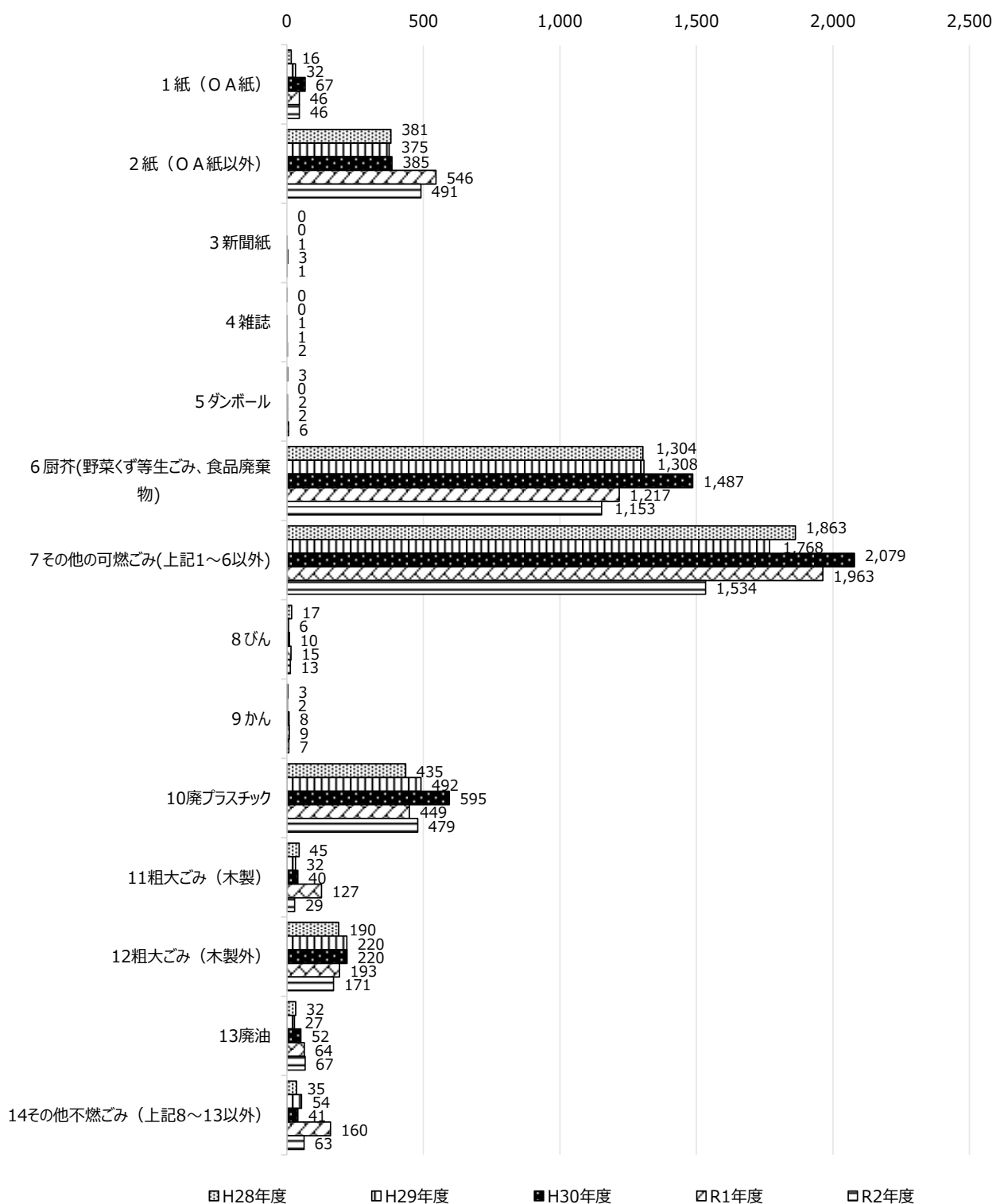
2.3 処分量

発生量合計が減少傾向にあったのに対し、処分量合計は増減にばらつきがあります。「厨芥(野菜くず等生ごみ、食品廃棄物)」と「その他の可燃ごみ」は減少傾向にあるものの、依然として高い水準となっています。一方、「紙(OA紙)」「新聞紙」「雑誌」「段ボール」「びん」「かん」は発生量がそれなりに多いのに対して処分量は極端に低く、再利用が進んでいることが伺えます。

(t/年)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
1 紙 (OA紙)	16	32	67	46	46
2 紙 (OA紙以外)	381	375	385	546	491
3 新聞紙	0	0	1	3	1
4 雑誌	0	0	1	1	2
5 ダンボール	3	0	2	2	6
6 厨芥(野菜くず等生ごみ、食品廃棄物)	1,304	1,308	1,487	1,217	1,153
7 その他の可燃ごみ(上記1～6以外)	1,863	1,768	2,079	1,963	1,534
8 びん	17	6	10	15	13
9 かん	3	2	8	9	7
10 廃プラスチック	435	492	595	449	479
11 粗大ごみ (木製)	45	32	40	127	29
12 粗大ごみ (木製外)	190	220	220	193	171
13 廃油	32	27	52	64	67
14 その他不燃ごみ (上記8～13以外)	35	54	41	160	63
15～17 その他 (A社ビール粕)	0	0	0	0	0
15～17 その他 (B社紙オムツ)	7,200	7,200	7,200	7,200	7,300
15～17 その他 (A社・B社以外)	1,003	1,023	995	929	985
【合計】	12,528	12,539	13,181	12,924	12,346

(t/年)

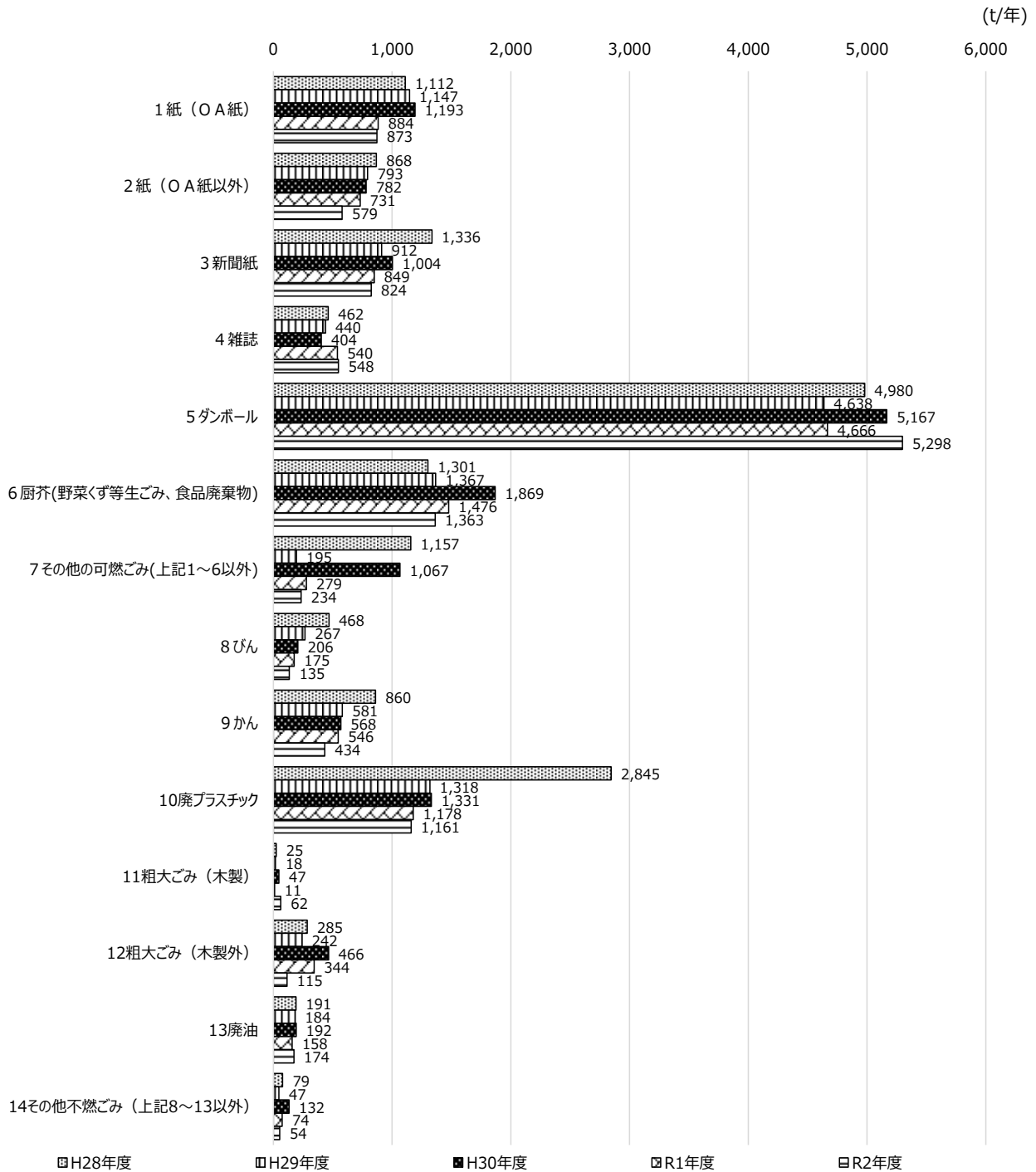


注) A社とB社の「その他」の回答は数値が突出しており、それ以外の事業者の「その他」とともにグラフからは除外している。

2.4 再利用率

発生量合計と比例して、再利用率合計は減少傾向にあります。特に「紙(OA紙)」、「紙(OA紙以外)」、「新聞紙」、「びん」、「かん」が減少しています。また、「廃プラスチック」は、平成28年度から平成29年度にかけて大幅に減少しています。

	(t/年)				
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
1紙(OA紙)	1,112	1,147	1,193	884	873
2紙(OA紙以外)	868	793	782	731	579
3新聞紙	1,336	912	1,004	849	824
4雑誌	462	440	404	540	548
5ダンボール	4,980	4,638	5,167	4,666	5,298
6厨芥(野菜くず等生ごみ、食品廃棄物)	1,301	1,367	1,869	1,476	1,363
7その他の可燃ごみ(上記1~6以外)	1,157	195	1,067	279	234
8びん	468	267	206	175	135
9かん	860	581	568	546	434
10廃プラスチック	2,845	1,318	1,331	1,178	1,161
11粗大ごみ(木製)	25	18	47	11	62
12粗大ごみ(木製外)	285	242	466	344	115
13廃油	191	184	192	158	174
14その他不燃ごみ(上記8~13以外)	79	47	132	74	54
15~17その他(A社ビール粕)	26,338	28,979	25,190	27,102	22,254
15~17その他(B社紙オムツ)	0	0	0	0	0
15~17その他(A社・B社以外)	1,830	2,029	1,627	1,609	1,287
【合計】	44,136	43,158	41,246	40,624	35,396



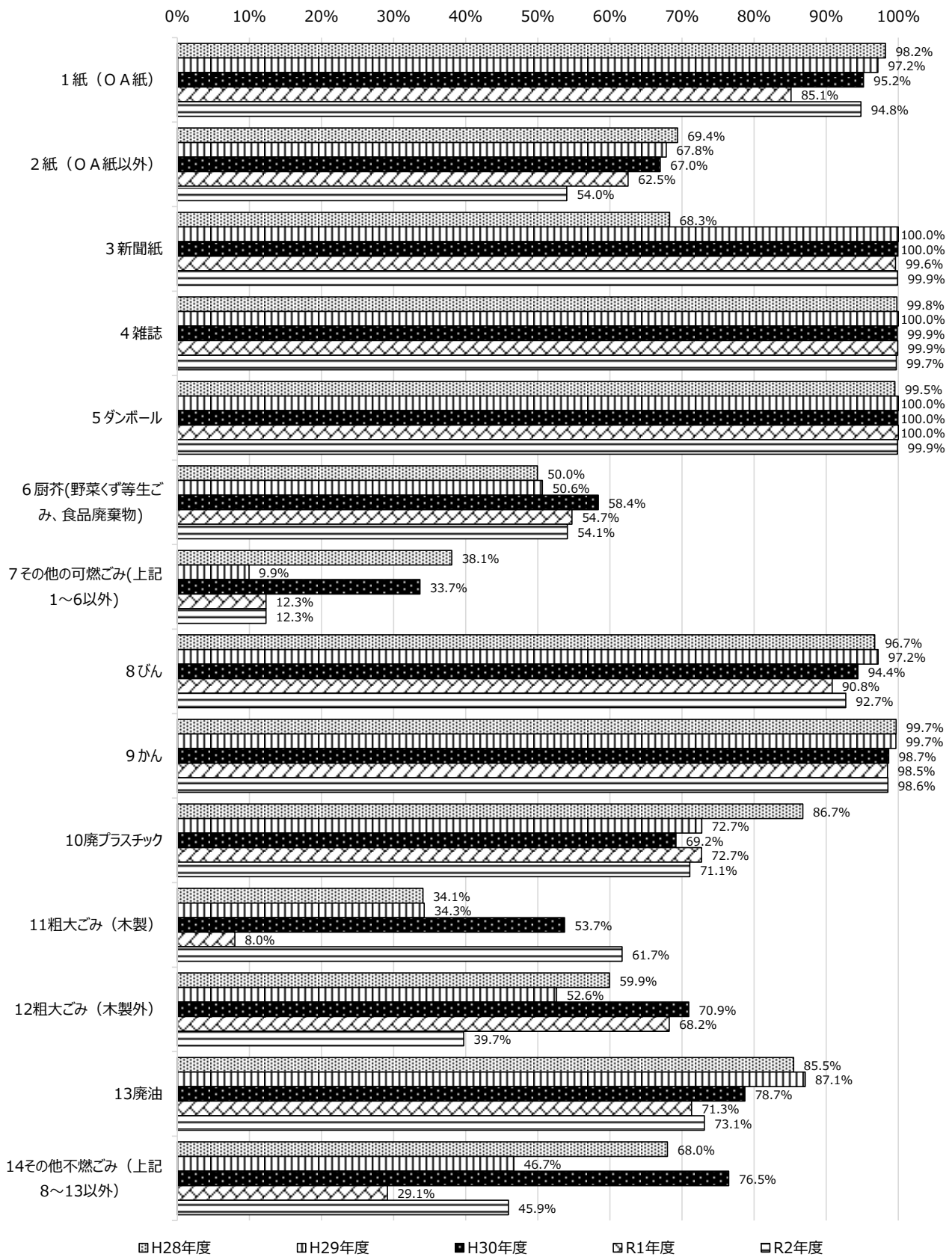
注) A社とB社の「その他」の回答は数値が突出しており、それ以外の事業者の「その他」とともにグラフからは除外している。

2.5 再利用率

全体での再利用率は年々減少しており、特に「紙(OA紙以外)」、「廃プラスチック」、「廃油」で減少傾向が見られ、特に「紙(OA紙以外)」は比較的低い水準まで減少しています。また、「厨芥(野菜くず等生ごみ、食品廃棄物)」が50%台と比較的低く、「その他の可燃ごみ」、「粗大ごみ(木製外)」、「その他不燃ごみ」はR2年度で50%未満と低い水準となっています。

	(%)				
年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
1紙(OA紙)	98.2%	97.2%	95.2%	85.1%	94.8%
2紙(OA紙以外)	69.4%	67.8%	67.0%	62.5%	54.0%
3新聞紙	68.3%	100.0%	100.0%	99.6%	99.9%
4雑誌	99.8%	100.0%	99.9%	99.9%	99.7%
5ダンボール	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%
6厨芥(野菜くず等生ごみ、食品廃棄物)	50.0%	50.6%	58.4%	54.7%	54.1%
7その他の可燃ごみ(上記1~6以外)	38.1%	9.9%	33.7%	12.3%	12.3%
8びん	96.7%	97.2%	94.4%	90.8%	92.7%
9かん	99.7%	99.7%	98.7%	98.5%	98.6%
10廃プラスチック	86.7%	72.7%	69.2%	72.7%	71.1%
11粗大ごみ(木製)	34.1%	34.3%	53.7%	8.0%	61.7%
12粗大ごみ(木製外)	59.9%	52.6%	70.9%	68.2%	39.7%
13廃油	85.5%	87.1%	78.7%	71.3%	73.1%
14その他不燃ごみ(上記8~13以外)	68.0%	46.7%	76.5%	29.1%	45.9%
15~17その他(A社ビール粕)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
15~17その他(B社紙オムツ)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15~17その他(A社・B社以外)	62.9%	66.4%	62.3%	63.3%	51.2%
【合計】	77.7%	77.4%	76.0%	75.6%	73.6%

注) R1年度の粗大ごみ(木製)の再利用率が極端に低いのは、同年度にC社が比較的多い量の粗大ごみを処分したためと考えられる。



注) A社とB社の「その他」の回答は数値が突出しており、それ以外の事業者の「その他」とともにグラフからは除外している。